

夢への旅路

浪速高校・浪速中学校鉄道研究部

今までは、送られる側だった。

『本日も南海電鉄をご利用くださいますて、誠にありがとうございます。

次は、終点、関西空港です』

アナウンスが聞こえる度、目を輝かせていたことを今でも鮮明に覚えている。

『皆様、当機はまもなく離陸いたします。

電波を発する電子機器は、電源をお切りいただくか、機内モードに設定してください』

これから始まる旅に、胸を膨らませた。

走り続ける鉄道に思いを馳せた。

空を舞う飛行機を希望とともに見た。

その時は、それだけだった。

「この電車は、空港急行、なんば行きです」

「それでは、快適な空の旅をお楽しみください！」

鉄道が人を送る。

旅客機が旅へと導く。

旅の始まりの地でもあり、終わりの地でもある関空で。

これが僕の、

これが私の、

『こちら南海指令、8301 発車してよし。どうぞ』

『APJ 257, contact Kansai Departure. Good day!』

——夢。いや、夢への旅路だ。